



ビデオオプリアゼント

「イマココ」を発信できる、ビデオ技術を届けます

障害を持つ参加者、そしてその保護者や支援者のみなさんへ、映像制作の技術を手渡すプログラムです。



参加者の作品は
こちらから！

video-present.tumblr.com

ビデオ・リゾート 「イマココ」を発信できる、ビデオ技術を届けます

プログラムの流れ

01 イントロダクション



02 カメラと三脚の使い方の説明



03 散歩しながら撮影



04 編集作業



05 作品タイトルや説明を考える

このプログラムの参加者は、さまざまな障害があるみなさんが中心となります。日頃から映像に親しみ、そこから多くのことを学ぶ人も多いはずですが、「自分でも映像を作りたい」と思っても、身の回りに詳しい人が居ないと、なかなか初めの一步は踏み出せないものです。

このプログラムでは、自身のスマホやタブレットを使って「身の回りにある日常の何気ない風景」や、「つつい注目してしまうものごと」を撮影することからスタートします。そして撮影した素材にごく簡単な編集も加えて、インターネットに作品を公開しました。

出来上がった作品を観てみると、映画やテレビで見慣れた映像とはまた異なる「なんでここに注目したの?」「どうしてこれが気になったの!?!」という、バラエティ豊かな視点が含まれた映像がたくさんあります。

障害の有無に関わらず、どのような人にも、どこか懐かしいような共感できる映像や、思いもよらなかった驚きの映像が見つかるかもしれません。

これは言い換えると読み書きを支える文房具としてのビデオ機器の可能性を拓くことでもあり、そして映像技術を手渡すことで、いろんな視点・いろんな感性に触れる「窓」が開かれたとも言えるでしょう。

作品は特設ウェブサイトでご覧頂けますので、ぜひアクセスしてみてください。

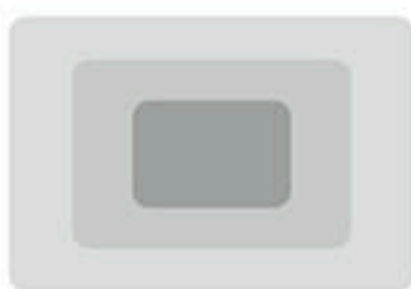
映像の技法

約130年前、フランスのリュミエール兄弟が最初期の映像装置のひとつ「シネマトグラフ」を開発しました。これで撮影された映像は「加工なし」「編集なし」「最長1分」「固定カメラ」「モノクロ」「音声なし」「ズームレンズなし」といった特徴を持っていました。

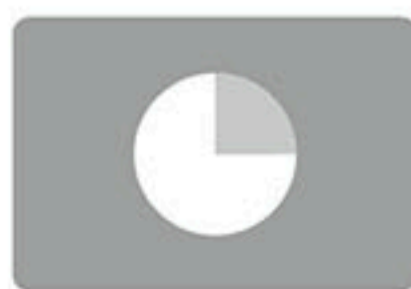
今回のプログラムでは、これらの6つの「リュミエールルール」を紹介した後に、撮影に出かけています。



カメラ固定



ズーム無し



30~60秒

シンプルで覚えやすく、作者の表現がストレートに伝わりやすい = リュミエールルール

山口情報芸術センター Yamaguchi Center for Arts and Media

〒753-0075

山口県山口市中国町7-7

TEL 083-901-2222

MAIL information@ycam.jp

www.ycam.jp

主催

NPO法人脳損傷友の会高知青い空 /
中国・四国 Artbrut Support Center
passerelle(パスレル)

企画制作

山口情報芸術センター[YCAM]

※本事業は厚生労働省令和3年度障害者芸術文化活動普及支援事業の一環として実施しています。